

2021 年度 森林利用学会シンポジウム
「林内道路ネットワークの再考」の開催について

日時：2021 年 11 月 28 日（日） 9:00～12:00（予定）

開催方法：対面およびオンライン

定員：対面 50 名，オンライン 100 名

場所：愛媛大学農学部大講義室および Webinar

趣旨：林道規程が昨年 4 月に改正され、輸送車両の大型化を想定した規格区分の導入が導入される一方、幹線を補う森林作業道が過剰に開設されるリスクも懸念されており、林内道路をめぐる情勢は大きく変化してきています。通行車両の大型化は、林道だけでなく中山間地の公道の狭隘部や、橋梁の耐荷重量等の新たな課題を生んでいます。本シンポジウムでは、これまで検討されてきた、路網の効率的配置や、生産システム・生産性との関係、開設コストや維持管理コスト等について話題提供していただき、林内道路をめぐる話題から、現在の森林・林業が抱えている諸課題への議論を行いたいと考えています。

司会・コーディネータ

中澤昌彦（森林総研）

齋藤仁志（岩手大学）

話題提供者（予定，仮題）

鈴木秀典（森林総研）

これまでの路網研究と森林路網施策

鈴木保志（高知大学）

急峻な地域における路網整備

白澤紘明（森林総研）

技術開発から見た路網研究

松澤義明（長野県林業コンサルタント協会） 森林路網設計業務の実際と課題